

栃木県内における病原体サーベイランスの状況

栃木県及び宇都宮市では感染症発生動向調査事業として、病原体サーベイランスを実施しています。病原体サーベイランスの対象となる疾病は、1類から5類の全数把握疾病（一部の疾患を除く）および5類定点把握疾病（性感染症・薬剤耐性菌感染症を除く）です。5類定点把握疾患は、指定された県内20カ所の病原体定点医療機関（インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点）で診断された患者の検体を対象としています。

令和6(2024)年6月分

(1) 病原体検出状況一覧(保健環境センター提出分)

No.	年齢	臨床診断名	材料の種類	検査方法	成績
1	70歳代	レジオネラ症	喀痰	分離培養(人工培地)、抗原検出等(凝集反応)	<i>Legionella pneumophila</i> 血清群1
2	80歳代	侵襲性肺炎球菌感染症	菌株	分離培養(人工培地)、抗原検出等(凝集反応)	肺炎球菌 血清型7C
3	40歳代	EHEC感染症	菌株	分離培養(人工培地)、抗原検出等(凝集反応)、遺伝子検出(LAMP法)	腸管出血性大腸菌 O55 VT1(+)/VT2(-)
4	乳児	麻疹疑い	尿	遺伝子検出(LAMP法)	ヒトヘルペスウイルス6型
5	幼児	侵襲性肺炎球菌感染症	菌株	分離培養(人工培地)、抗原検出等(凝集反応)	肺炎球菌 血清型24B

(2) 病原体検出状況一覧(宇都宮市衛生環境試験所提出分)

病原体検出なし